

研究開発用熱処理装置専門のオンリーワン企業。創立以来34年間蓄積された独自の熱技術を駆使した赤外線加熱装置は新材料物質の熱処理・研究に多用され、全国の理工系大学、研究開発法人、民間研究・開発部門に納入実績があります。



赤外線導入加熱装置 (GVL298)



X線光電子分光装置へ赤外線導入加熱装置の取付例



超高温スーパーRTA装置 (SR1800D)

得意な技術・製品

【得意な技術】

- ・赤外線を熱源に採用した熱処理技術
人工的に発生させた赤外線を楕円反射ミラーにより集光させ、加熱物体に伝送照射、短時間に高温度迄昇温させる熱処理技術が得意
加熱試料が空気中、ガス中、真空中、磁場中等の環境下でも周りを加熱せず昇温可能

【製品】

- ・赤外線導入加熱装置、超高温スーパーRTA装置、赤外線真空炉

主要な技術・製品

【赤外線導入加熱装置 (GVL298)】

- ・赤外線ランプから発生した赤外線を楕円ミラーで集光させ、光ファイバーと同様に加熱試料まで伝送し照射昇温
- ・真空中に有る試料を1500℃迄1分間で昇温し、周りを加熱しない
- ・使用電力は僅か2kW
- ・X線光電子分光装置内の分析用試料のクリーン昇温にも多用され、サーモ理工独自の熱技術で他社では製作していない

【超高温スーパーRTA装置 (SR1800D)】

- ・透明石英管内に設置されている加熱物体に、楕円ミラーで赤外線を集光させる加熱方式
- ・赤外線は効率よく加熱物体に照射し、1800℃迄僅か20秒で昇温
- ・所要電力は僅か2kWの省電力
- ・用途はSiC、グラフェン等の超高速熱処理に使用されている

【その他】

赤外線真空炉 (IVF298W) 等、各種熱処理機器取り揃え有

■生産拠点・研究体制：東京都三鷹市下連雀(三鷹ハイテクセンター、研究員5名)

■主要設備：超高温加熱装置、高真空排気システム

■得意な顧客、市場分野：理工系大学、研究開発法人、民間研究部、新材料の研究分野

■主要取引先(企業名)、顧客構成：東京大学、東北大学、大阪大学、産業技術総合研究所

▶取得資格、認証(ISO等)：CEマーク取得

▶海外展開事例、海外拠点：代理店・英国リバプール。納入実績：イギリス、フランス、ドイツ、台湾、韓国。

▶受賞履歴(直近3～5年以内)：2015年12月、日本表面科学学会より「産業賞」受賞。

▶公的支援利用状況(直近3～5年以内)：平成25年度海外展開技術支援助成事業、平成24年度三鷹商工会新技術開発支援事業

カブシキガイシャ サーモリコウ

株式会社 サーモ理工

- 資本金：1,000万円 ●従業員数：9名 ●設立年度：1982年
- 連絡窓口(名前)：代表取締役 遠藤智義
- 所属団体：応用物理学会、日本科学機器協会

所在地：〒181-0013 東京都三鷹市下連雀8-7-3 三鷹ハイテクセンター

電話：0422-76-2511

FAX：0422-76-2514

<Eメール>

sekigai@thermo-r.co.jp

<ホームページ>

<http://www.kagaku.com/thermo/>